



自然史博物館の資料保存と活用・管理を解説した「自然史博物館の資料と保存」を出版

## 概要

高野温子 (兵庫県立大学自然・環境科学研究所 教授 兼 兵庫県立人と自然の博物館主任研究員)と 三橋弘宗 (兵庫県立大学自然・環境科学研究所 講師 兼 兵庫県立人と自然の博物館主任研究員)が編集を務めた書籍「自然史博物館の資料と保存」が、朝倉書店より 2024 年 11 月 10 日に出版されます。

## 内容紹介

自然史博物館の資料と保存、整理と活用方法、さらには運営や組織体制についてご紹介します。

自然史博物館を知るための入門書。収蔵資料の作製・保存・活用から博物館の運営まで丁寧に解説します。

- ◎自然史博物館の収蔵資料の種類
- ◎自然史標本の作成方法
- ◎自然史資料のデジタル化手法
- ◎自然史資料の各種公開データベース
- ◎自然史博物館の施設整備・運営

\*\*\*\*\*

- ・自然史博物館に収集・保管されている資料の種類を解説
- ・自然史博物館の特徴として、学芸員自らが収蔵する標本作製することがあげられる。各分野の標本作製について概説
- ・収集した標本は適切に整理されて保管されることで、初めて研究や教育・展示への活用が可能になる。各分野の標本整理法について述べ、昨今の AI 技術やデジタル技術を活用した資料整理法の効率化についても解説
- ・自然史標本がどのように研究やシンクタンク、レッドデータブック編纂に活用されているか、多くの具体例を挙げて解説
- ・各分野の自然史標本デジタル化の手法について解説
- ・自然史資料の同定や整理に役立つ、各種自然史資料公開データベースも多数紹介
- ・自然史資料収蔵のための施設整備・自然史博物館の管理や運営について解説



## 目次

序章 自然史博物館と自然史標本—その特色と期待される役割の変化— 高野温子

### 1章 自然史博物館における収蔵資料の種類

1.1 化石	矢部 淳
1.2 岩石、鉱物など	加藤茂弘
1.3 植物	高野温子
1.4 昆虫	大島康宏・山田量崇
1.5 無脊椎動物（昆虫以外）	石田 惣
1.6 魚類	北村淳一
1.7 脊椎動物（魚類以外）	林 光武
トピックス 自然史博物館の資料収集方針とは	林 光武

### 2章 自然史標本の作成方法

2.1 化石、プレパラート	齋藤めぐみ
2.2 岩石、鉱物など	加藤茂弘
2.3 植物	高野温子
2.4 昆虫	大島康宏・山田量崇
2.5 無脊椎動物（昆虫以外）	石田 惣
2.6 魚類	北村淳一
2.7 脊椎動物（魚類以外）	林 光武
トピックス 自然史博物館における資料収集の手段	生野賢司
トピックス 標本 DNA をよりよく保存する方法	中濱直之

### 3章 自然史標本の整理方法

3.1 化石	矢部淳
3.2 岩石、鉱物など	加藤茂弘
3.3 植物	李 忠建
3.4 昆虫	大島康宏・山田量崇
3.5 液浸標本（脊椎動物，無脊椎動物）	山崎健史・北村淳一
トピックス AIを活用した資料整理法のアップデート	高野温子

### 4章 自然史資料の保存

4.1 地学系資料	加藤茂弘
4.2 生物系の乾燥標本	高野温子
4.3 液浸標本	石田 惣・高野温子
トピックス 人と自然の博物館における IPM の実践	高野温子

### 5章 自然史資料を見せる

5.1 展示	水島未記
--------	------



5.2	アウトリーチ	水島未記
5.3	教育普及活動での活用	真鍋 徹
5.4	収蔵しながら見せるー魅せる収蔵庫ー	高野温子
6章	自然史標本を利用する	
6.1	調査・研究	高野温子
6.2	シンクタンク・レッドデータブック編集	橋本佳延・三橋弘宗
7章	自然史資料のデジタル化ー標本画像撮影法ー	
7.0	資料デジタルアーカイブ作成上の留意点	高野温子
7.1	化石の撮影方法	兼子尚知・松原尚志
7.2	植物標本の撮影方法	高野温子
7.3	昆虫標本の撮影方法	奥山清市
	トピックス 自然史標本の3Dデータ化の可能性	橋本佳延
8章	自然史資料公開データベース	
8.1	S-Net, GBIF, その他自然史資料に関するデータベース	高野温子
8.2	jPaleoDB (日本古生物標本横断データベース)	伊藤幸弘
8.3	昆虫類のデータベース	山田量崇
8.4	植生資料データベースー物理的に収蔵できない自然の姿を後世に伝える観察資料ー	橋本佳延
8.5	クモ類のデータベース	山崎健史
9章	自然史資料収蔵のための施設整備	
9.1	自然史資料に必要な収蔵庫施設	高野温子・加藤茂弘
9.2	資料収集の中長期計画	高野温子
9.3	収蔵庫の管理計画	高野温子
10章	自然史博物館の運営	
10.1	館維持運営費と予算の内訳	林 光武・高野温子
10.2	自然史博物館における職種と組織体制	奥山清市
10.3	自然史博物館間の連携	高野温子
10.4	博物館友の会, ボランティアなどとの連携	奥山清市



兵庫県立大学  
UNIVERSITY OF HYOGO



Osaka Museum of Natural History  
大阪市立自然史博物館

表紙イラスト



<書籍情報>

【タイトル】自然史博物館の資料と保存

【編集】高野温子 (兵庫県立大学自然・環境科学研究所 教授 兼 兵庫県立人と自然の博物館主任研究員)・三橋弘宗 (兵庫県立大学自然・環境科学研究所 講師 兼 兵庫県立人と自然の博物館主任研究員)



兵庫県立大学  
UNIVERSITY OF HYOGO



Osaka Museum of Natural History  
大阪市立自然史博物館

### 【その他書籍情報】

出版社: 朝倉書店

発売日: 2024年11月10日

言語: 日本語

単行本: 192ページ

ISBN: 978-4-254-10306-9 C3040

### 問い合わせ先

兵庫県立大学自然・環境科学研究所 教授

兵庫県立人と自然の博物館 主任研究員

高野 温子

電話: 079-559-2001 メール: [takano@hitohaku.jp](mailto:takano@hitohaku.jp)

### 同時資料提供先

県教委記者クラブ

三田市政記者クラブ

大阪科学・大学記者クラブ

大阪教育記者クラブ

南大阪記者クラブ